

令和6年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名： 商工観光課 シート No.： 108 作成日： 2025.5/13

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	Ⅵ産業振興	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	3雇用を高め、賑わいをもたらす商工業・観光を振興する	・市では「都市計画マスタープラン」（令和6年3月）において、「コンパクトで可能性のある都市づくり」を目指し、市街地内の既存ストックを活用したまちづくりの推進や市街地内の拠点の再構築を施策として掲げています。 ・一方、水海道駅周辺並びに石下駅周辺の商業地区において、社会経済構造の変化により、来訪者の減少や空き店舗の増加など、区域の衰退が進んでおり、既存の施設を含めた地域資源を活用した賑わいづくりへ向けた取り組みが必要です。 ・また、駅前エリアだけでなく、市全域の公共施設や商業施設とも連携し、賑わい創出をはかることで、市全体の商工業・観光支援の推進が求められています。	・ふるさと財団の補助によるまちなか再生事業を実施し、まちづくりの民間専門家と共に、公民連携で水海道駅前エリアの賑わいづくりに取組みます。 ・賑わい創出を目的としたイベント開催や空き店舗活用に補助金を交付し、市街地への来訪・滞留人口の増加を進め、まちの賑わいを創出します。
	施策	1 商業		
	施策内容	まちの賑わいの創出		
	その他、根拠法令及び分野別計画等	常総市立地適正化計画、第二次常総市都市計画マスタープラン		
事務事業名		賑わい創出事業		

② アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

③ インプット（投入）

アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 6 予算額	R 6 決算額
活動名・事業名 （対象年）	R 6 活動・事業内容	指標（単位）	R 6 目標値	R 7 目標値		
			R 6 実績値	R 8 目標値		
市民の広場の維持管理、活用 （R 6・7・8）	市民の交流を促進し、賑わいを創出する目的として設置された市民の広場の運営管理や利用申請の受け付けなどを行っています。	利用者(団体)数(人)	20	10	0 千円	0 千円
			36	30		
市民コミュニティホール管理 （R 6・7・8）	市の指定文化財である当該施設の防火管理を含めた維持管理を行っています。	施設点検数（回）	2	2	77 千円	81 千円
			2	2		
まちなか再生事業市民対象ワークショップの実施 （R 6）	水海道駅前エリアを対象とした公共施設や地域の人、観光資源など地域資源を再発見し今後のまちづくりを考えるワークショップを開催しました。	実施回数（回）	6	－	総事業費 10,500 千円	総事業費 10,369 千円
			8	－		
まちなか再生事業情報誌の作成 （R 6・7・8）	水海道駅前エリアの過去・未来・現在がわかる情報誌を作成し、地域の持つ魅力を再認識する機会を造成しました。	発行回数/年（回）	1	2	総事業費 10,500 千円	総事業費 10,369 千円
			1	4		
まちなか再生事業公共施設の利活用 （R 6・7・8）	市民の広場、二水会館、水海道公民館において地元高校生や市民団体と協働でイベントを実施し、新たな活用方法を市民に提示しました。	活用施設数（箇所）	3	4	総事業費 10,500 千円	総事業費 10,369 千円
			3	5		
まちなか再生事業アクションプラン(行動計画)の策定 （R 6）	ワークショップや公共施設の利活用を通じ得られた市民の声と実施による反省と課題を踏まえて、今後のまちづくりにおける行動計画を策定しました。	－	－	－	総事業費 10,500 千円	総事業費 10,369 千円
			－	－		
地域活性化事業補助金 （R 6・7・8）	賑わいづくりや地域の活性化を目的とした事業に補助金を交付しています。	補助件数（件）	10	5	2,000 千円	1,600 千円
			10	15		
空き店舗活用事業補助金 （R 6・7・8）	対象地域の空き店舗活用のための改修費や家賃補助を実施しています。	補助件数（件）	1	1	480 千円	240 千円
			1	1		
空き店舗の現状調査 （R 6）	水海道駅前及び石下駅前の空き店舗や商業店舗の数を調査しました。	調査日数（日）	30	－	0 千円	0 千円
			20	－		
商店街街路灯管理費補助金 （R 6・7・8）	商店街の街路灯を管理する団体に管理費に係る補助金を交付しています。	補助対象街路灯（基）	530	530	448 千円	448 千円
			526	530		

④ アウトカム（成果）

指標名	目標値	R 6 実績値
新たに活用を開始した地域資源の数（箇所）	5 (R11)	1
市内で新たに活動を開始した市民（団体）の数	2	3

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
・地域活性化事業補助金を活用し、地域交流センターや市内各所で賑わいづくり創出へ向けたイベントが年内で 19 回開催され、イベントには市内飲食店や小売事業者が出店する機会にもつながり、域内の消費促進が図られました。 ・水海道駅前エリアを対象区域としたまちなか再生事業において、子育て世代や市内高校生など今までまちづくりに関わる機会の少なかった市民と協働でイベントの企画、運営を実施し、今後まちづくりへ関わる人材発掘や育成を図りました。	☐ コスト	☒ 活動	☐ 成果	☐ その他
	今後の方向性			
	・令和 8 年度から供用開始予定である市民の広場に併設される複合施設は多世代・多文化交流としての機能も求められています。施設の利活用を見据えた水海道駅前エリア全体の賑わいづくりが求められています。 ・市の重要施策である「こどもまんなかまちづくり」を実現するために、市内に既にある人、物、場所といった地域の資源を活用したコンテンツ開発やイベントの実施を行います。 ・道の駅などの集客施設と市内施設との連携を促進し、回遊をはかります。			